

経営学部2年 宮本 真秀

私がこのプログラムで感じたことは、思いやりや優しさという面です。一か月の生活を通して出会った人が全員親切で困っていれば助けてくれる人たちでした。最終プレゼンに向けての発音の課題をしているときに、正しい発音がわからないことがありました。そこで学生に聞くことにしました。すると親身になって私の課題について考えてくれて、私が理解しやすいように説明してくれました。このようなことは、日本では少ないのではないかと考えました。また、学校外に出かけたときにはお店の人がたくさん声をかけてくれることなどフレンドリーな性格の大切さを学びました。誰か困っている人がいれば、声をかけて助けることができるようになりたいと思いました。また、今回の生活を通して様々な国の人々と出会えました。文化の違いはもちろん色々なスタイルの人がともに暮らしていることから自分とは違うことがあったとしてもそれを否定するのではなく、お互いの良い部分を融合していけばよいのだと思いました。さらに、今回のプロジェクトのプレゼンで私はグループリーダーをすることになり、仕事の振り分けや発表時間を決めること練習を通して周りをよく見て行動することや発表が苦手な人がいたとしてもその人がどのようにしたらより発表しやすくなるのか考えることができ、どのようなリーダーを目指していけばよいのかを学ぶことができました。



経営学部2年 西川 環

私が今回のプログラムで学んだことは、2つあります。1つ目は、世界は広いなということを知りました。私は今まで一度も海外に行ったことがなかったため日本という国しか見たことがなかったです。しかし今回の留学でカナダという日本とは違う国、文化、人を自分

の目で見ることができ世界の広さを改めて感じました。同じ時間を過ごしていても日本では絶対できない経験をすることができました。2つ目は、シャイでいることの恥ずかしさを学びました。今回の経験から自分がとてもシャイだということに気づけました。最初は、授業中に発言するたびに人の目を気にしたり、緊張したり、恥ずかしかったりしていました。しかし、TWUの学生、カナダで出会った人たちのいつでも堂々としている姿、話しかけてもフレンドリーに接してくれる姿を見てカッコいいと思う反面、自分が情けなく感じました。そこから、恥ずかしさを捨てて授業中に発言したり、誰かに話しかけられてもすぐに会話するように頑張りました。そのおかげで最後のプレゼンも一切緊張することなく自分の言葉で発表できました。現地に行ったから気づけたこと学べたことが多くあり本当に充実した1カ月間でした。

